

三菱電機 汎用シーケンサ用リニューアルツール

変換アダプタ

形名

ERNT-1AR10XY



ユーザーズマニュアル

50CM-D180292-C(2006)

● 安全上のご注意 ●

(ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

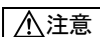
本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、MELSEC iQ-Rシリーズの「安全にお使いいただくために」を参照してください。

製品の保護機能を損なう恐れがありますので、記載内容を逸脱して使用しないでください。この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区別してあります。



警告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルが必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【ご使用前の注意事項】

⚠ 注意

- MELSEC-AシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えを行う際は、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ず対象シーケンサユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願い致します。

【取付け上の注意事項】

⚠ 注意

- 変換アダプタおよび変換アダプタ固定台は、MELSEC iQ-Rシリーズの「安全にお使いいただくために」に記載される一般仕様の環境で使用してください。一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- 変換アダプタの導電部分には直接触らないでください。システムの誤動作、故障の原因になります。
- 変換アダプタおよび変換アダプタ固定台は、取付けネジにて確実に固定し、取付けネジは規定のトルク範囲内で確実に締め付けてください。落下による変換アダプタ及び変換アダプタ固定台の破損の原因になります。
- MELSEC iQ-R シリーズと変換アダプタの組み合わせが正しいことを必ず確認してください。異なる組合せで使用した場合、ユニットの破損の恐れがあります。

【配線上の注意事項】

⚠ 警告

- 取付け、配線作業などは、必ず電源を外部ににて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。
- 取付け、配線作業完了後、通電、運転を行う場合は、必ずMELSEC-Aシリーズ端子台に付属の端子台カバーを閉めてください。端子台カバーを閉めない、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- 変換アダプタの配線は、使用するユニットの仕様および端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なった電源を接続したり、誤配線をする、火災、故障の原因になります。
- 変換アダプタ取付けネジ、変換アダプタ固定台取付けネジ、MELSEC-Aシリーズ端子台取付けネジは、規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締め付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジや変換アダプタの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- 変換アダプタおよびユニット内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠ 警告

- 通電中は端子に触れないでください。感電の恐れや、誤動作の原因になります。
- 清掃や端子ネジの増し締めは、電源を外部ににて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。ネジを締め過ぎると、変換アダプタやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。

⚠ 注意

- 変換アダプタの分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- 変換アダプタのケースは樹脂製ですので落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。変換アダプタの破損の原因になります。

【廃棄時の注意事項】

⚠ 注意

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

EMC 指令・低電圧指令への対応

欧州域内で発売される製品に対しては、1996年から欧州指令の1つであるEMC指令への適合証明が法的に義務づけられています。また、1997年から欧州指令の1つである低電圧指令への適合も法的に義務づけられています。

EMC指令および低電圧指令に適合していると製造者が認めるものは、製造者自ら適合宣言を行い、「CEマーク」を表示する必要があります。

EU域内販売責任者

EU域内販売責任者は下記のとおりです。

会社名：Mitsubishi Electric Europe B.V.

住所：Mitsubishi-Electric-Platz 1, 40882 Ratingen, Germany

1. 概要

本マニュアルは、三菱電機汎用シーケンサ用リニューアルツールの変換アダプタ(ERNT-1AR10XY)について説明したものです。変換アダプタは、MELSEC-Aシリーズ(以下、Aシリーズと称す)とMELSEC iQ-Rシリーズ(以下、iQ-Rシリーズと称す)のピンサインの相違を変換する製品です。

実際に、AシリーズからiQ-Rシリーズへの置換えを行う際は、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ず対象シーケンサユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願い致します。

開封後、下記製品が入っていることを確認してください。

品名	形状	個数
変換アダプタ本体		1
取付金		1
取付金固定ネジ(M3.5×6)		2
本マニュアル	—	1

2. 仕様

2.1 一般仕様

項目	仕様			
使用周囲温度	0~55℃			
保存周囲温度	-25~75℃			
使用周囲湿度	5~95%RH, 結露なきこと			
保存周囲湿度	5~95%RH, 結露なきこと			
耐振動	JIS B 3502, IEC 61131-2 に適合			
	断続的な振動がある場合 5~8.4Hz 8.4~150Hz	周波数 5~8.4Hz 8.4~150Hz	定加速度 — 9.8m/s ²	片振幅 3.5mm —
耐衝撃	JIS B 3502, IEC 61131-2 に適合(147m/s ² , XYZ各双方3回)			
	使用雰囲気	腐食性ガスがないこと		
使用標高 *1	0~2000m			
設置場所	制御盤内 *2			
オーバervoltage カテゴリ *3	II 以下			
汚染度 *4	2			

*1: 標高0mの大気圧以上に加圧した環境で使用または保存しないでください。

*2: 変換アダプタは、開放形の製品です。保護構造がUL50 Type1 IP20 以上の盤内に設置し、「一般仕様」に記載している環境で使用してください。

*3: その機器が公衆配電網から構内の機械装置にいたるまでの、どこの配電部に接続されていることを想定しているかを示します。カテゴリIIは、固定設備から給電される機器などに適用します。

*4: その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しません。ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

2.2 ハードウェア仕様

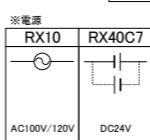
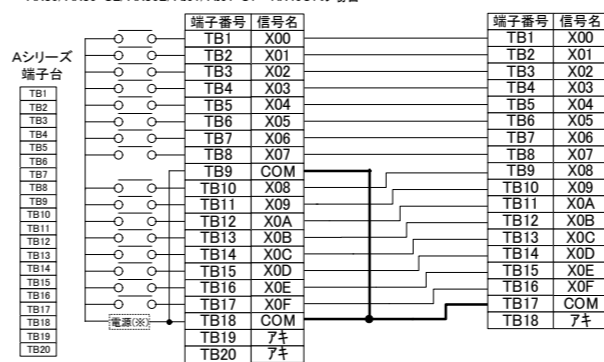
項目	仕様
定格電圧/電流	DC5~24V/AC100~240V(+10/-15%) 2A/1点 8A/1コモン

3. 変換アダプタ製品仕様

仕様比較表に掲載されていない詳細仕様に関しては、ご使用になるiQ-Rシリーズユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。なお、接続機器の仕様がiQ-Rシリーズユニットの仕様を満足することを確認してください。

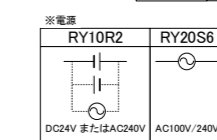
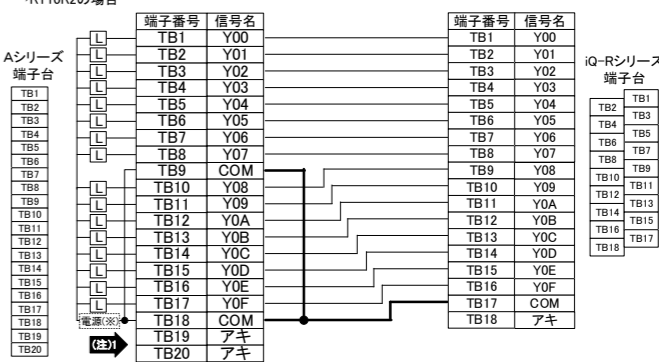
変換アダプタ形名	Aシリーズ ユニット形名	入出力点数	iQ-Rシリーズ ユニット形名	変換アダプタ質量 (g)
ERNT-1AR10XY	AX10, AX10-UL	16点	RX10	135
	AX40, AX40-UL AX70, AX70-UL AX80, AX80-UL, AX80E		RX40C7	
	AY10 AY11, AY11-UL, AY11E, AY11EEU		RY10R2	
	AY22		RY20S6	
	AI61, AI61-S1		RX40C7	

AX10/AX10-UL→RX10,
AX40/AX40-UL/AX70/AX70-UL/
AX80/AX80-UL/AX80E/AI61/AI61-S1→RX40C7の場合



変換アダプタ

AY22→RY20S6,
AY10/AY11/AY11-UL/AY11E/AY11EEU
→RY10R2の場合



変換アダプタ

配線上の注意

- (注) AY10, AY11, AY11-UL, AY11E, AY11EEU→RY10R2へ置き換える際、Aシリーズ側の端子番号 TB19, 20 に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。

＜ユニット仕様比較表＞

仕様	形名	Aシリーズ		iQ-Rシリーズ
		AX10	AX10-UL	RX10
入力点数		16点		16点
定格入力電圧		AC100-120V, 50/60Hz	AC110-120V, 50/60Hz	AC100-120V, 50/60Hz
定格入力電流		10mA(AC100V, 60Hz)	11mA(AC110V) 12mA(AC120V)	8.2mA(AC100V, 60Hz) 6.8mA(AC100V, 50Hz)
突入電流		最大 300mA 0.3ms 以内(AC132V)		最大 200mA 1ms 以内
ON電圧/ON電流		AC80V 以上/6mA 以上		AC80V 以上/5mA 以上(50Hz, 60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC40V 以下/4mA 以下		AC30V 以下/1.7mA 以下(50Hz, 60Hz)
入力インピーダンス		約 10kΩ(60Hz), 約 12kΩ(50Hz)		12.2kΩ(60Hz), 14.6kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	15ms 以下		15ms 以下(AC100V 50Hz, 60Hz)
	ON→OFF	25ms 以下		20ms 以下(AC100V 50Hz, 60Hz)
内部消費電流		55mA(TYP.全点 ON)		110mA(TYP.全点 ON)
コモン方式		16点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		20点端子台		18点端子台

上表の [] 部分は、iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。

仕様	形名	Aシリーズ				iQ-Rシリーズ					
		AX40, AX40-UL (シンクタイプ)	AX70, AX70-UL (シンク/ソースタイプ)		AX80, AX80-UL (ソースタイプ)	AX80E (ソースタイプ)	RX40C7 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)				
入力点数		16点		16点		16点					
定格入力電圧 ※1		DC12V	DC24V	DC5V	DC12V	DC24V	DC12V	DC24V	DC24V		
定格入力電流		4mA	10mA	3.5mA(TYP) 5.5mA(MAX)	2mA(TYP) 3mA(MAX)	4.5mA(TYP) 6mA(MAX)	4mA	10mA	4mA	10mA	7.0mA(TYP)
ON電圧/ON電流		DC9.5V 以上/ 3mA 以上		(SW ON)DC3.5V 以上/1.0mA 以上 (SW OFF)DC5V 以上/1.0mA 以上			DC9.5V 以上/ 3mA 以上		DC9.5V 以上/ 2.6mA 以上		DC15V 以上/4mA 以上
OFF電圧/OFF電流		DC6V 以下/ 1.5mA 以下		(SW ON)DC1.1V 以下/0.2mA 以下 (SW OFF)DC2V 以下/0.2mA 以下			DC6V 以下/ 1.5mA 以下		DC6V 以下/ 1.0mA 以下		DC8V 以下/2mA 以下
入力抵抗		約 2.4kΩ		(SW ON)約 1.4kΩ (SW OFF)約 5.5kΩ			約 2.4kΩ		約 2.4kΩ		3.3kΩ
応答時間	OFF→ON	10ms 以下		1.5ms 以下			10ms 以下		0.5ms 以下		0.1/0.2/0.4/0.6/1/5/10/20/70ms 以下
	ON→OFF	10ms 以下		3ms 以下			10ms 以下		10ms 以下		0.1/0.2/0.4/0.6/1/5/10/20/70ms 以下
内部消費電流		55mA (TYP.全点 ON)		55mA (TYP.全点 ON)			55mA (TYP.全点 ON)		55mA (TYP.全点 ON)		110mA (TYP.全点 ON)
コモン方式 ※2		8点1コモン		8点1コモン			8点1コモン		8点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		20点端子台		20点端子台			20点端子台		20点端子台		18点端子台

上表の [] 部分は、iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。

※1: 定格入力電圧をDC5VまたはDC12Vで使用している場合は、DC24Vに変更する必要があります。

※2: 1コモンあたりの点数が、8点/1コモン(2回路)→16点/1コモンとなるため、Aシリーズ側の端子番号TB9, 18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

仕様	形名	Aシリーズ				iQ-Rシリーズ
		AY10	AY11 AY11-UL	AY11E	AY11EEU	RY10R2
出力点数		16点	16点	16点	16点	16点
定格開閉電圧・電流		DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC24V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン
最小開閉負荷		DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V	AC264V DC125V	AC250V DC125V	AC49.9V DC74.9V	AC264V DC125V
OFF時漏洩電流		—	0.1mA(AC200V, 60Hz)	0.1mA(AC200V, 60Hz)	0.1mA(AC49.9V, 60Hz)	—
応答時間	OFF→ON	10ms以下	10ms以下	10ms以下	10ms以下	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下	12ms以下	12ms以下	12ms以下	12ms以下
サージキラー		無	バリスタ(387~473V)	バリスタ(387~473V)	バリスタ(387~473V)	無
ヒューズ		無	無	有	有	無
内部消費電流		115mA (TYP.全点 ON)	115mA (TYP.全点 ON)	115mA (TYP.全点 ON)	115mA (TYP.全点 ON)	450mA (TYP.全点 ON)
コモン方式 ※1		8点1コモン	8点1コモン	8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	20点端子台	20点端子台	18点端子台

上表の□部分は、iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。

※1:1コモンあたりの点数が、8点/1コモン(2回路)→16点/1コモンとなるため、Aシリーズ側の端子番号TB9、18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

仕様	形名	Aシリーズ	iQ-Rシリーズ
		AY22	RY20S6
出力点数		16点	16点
定格負荷電圧		AC100-240V, 50/60Hz	AC100-240V, 50/60Hz
最大負荷電流		2A/1点 3.3A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電圧・電流		AC24V 100mA	AC24V 100mA
		AC100V 10mA	AC100V 25mA
		AC240V 20mA	AC240V 25mA
最大突入電流		40A 10ms以下, 15A 100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA (AC120V 60Hz)	1.5mA以下(120V 60Hz時)
		3mA (AC240V 60Hz)	3mA以下(240V 60Hz時)
ON時最大電圧降下		AC1.5V以下(1~2A) AC1.8V以下(0.2~1A) AC5V以下(0.2A以下)	AC1.5V以下 (負荷電流0.6A時)
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
	ON→OFF	0.5CYCLE+1ms以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷, 抵抗負荷)
サージキラー		CR アブソバ(0.022μF+47Ω) バリスタ(387~473V)	CR アブソバ
ヒューズ		有	無 (外部配線1点ごとにヒューズの取付けを推奨)
内部消費電流		305mA (TYP.全点 ON)	280mA (TYP.全点 ON)
コモン方式 ※1		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

上表の□部分は、iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。

※1:1コモンあたりの点数が、8点/1コモン(2回路)→16点/1コモンとなるため、Aシリーズ側の端子番号TB9、18を分離してご使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

仕様	形名	Aシリーズ		iQ-Rシリーズ
		AI61	AI61-S1	RX40C7 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)
割込み入力点数		16点	16点	16点
定格入力電圧 ※1		DC12V/24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		6mA (DC12V) 14mA (DC24V)	14mA	7.0mA(TYP)
使用電圧範囲		DC10.2V~26.4V	DC21.6V~26.4V	—
最大同時入力点数		100%(16/1コモン) 同時 ON	100%(16/1コモン) 同時 ON	—
ON電圧		9V以上	16V以上	—
OFF電圧		4V以下	9V以下	—
ON電圧/ON電流		—	—	DC15V以上/4mA以上
OFF電圧/OFF電流		—	—	DC8V以下/2mA以下
入力抵抗		約2.4kΩ	約2.4kΩ	3.3kΩ
応答時間	OFF→ON	0.2ms以下	2ms以上, 8ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	0.2ms以下	2ms以上, 8ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1/5/10/20/70ms以下
占有点数		32点	32点	16点
内部消費電流		140mA (TYP.全点 ON)	140mA (TYP.全点 ON)	110mA (TYP.全点 ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

上表の□部分は、iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。

※1: AI61→RX40C7へ置き換える際、定格入力電圧をDC5VまたはDC12Vで使用している場合は、DC24Vに変更する必要があります。

プログラム上の注意

(1)プログラムのユニットパラメータで、割込動作設定を行っていただく必要があります。

4. 変換アダプタに必要な製品

- (1) 変換アダプタ固定台(別売)
変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースあたり1個必要となります。

変換アダプタ 固定台形名	仕様	
	種別	質量(g)
ERNT-1AR12F	12スロット分変換アダプタ固定台	775
ERNT-1AR8F	8スロット分変換アダプタ固定台	540
ERNT-1AR5F	5スロット分変換アダプタ固定台	360

- (2) ベースアダプタ(別売)
Aシリーズのベースユニットの取付け穴を利用し、iQ-Rシリーズを設置可能とするものです。(追加穴加工不要)

ベースアダプタ形名	仕様			
	Aシリーズ 対応ユニット	iQ-Rシリーズ ユニット形名	変換アダプタ固定台	質量(g)
ERNT-AQB38N	A38B, A38B-UL, A38B-E	R312B	ERNT-1AR12F	970
	A38HB, A38HBEU	R38B	ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB68N	A68B, A68B-UL	R612B	ERNT-1AR12F	930
		R68B	ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB58N	A58B, A58B-UL	R68B	ERNT-1AR8F	870
ERNT-AQB35N	A35B, A35B-UL, A35B-E	R38B	ERNT-1AR8F	795
		R35B	ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB65N	A65B, A65B-UL	R65B		790
ERNT-AQB55N	A55B, A55B-UL		ERNT-1AR5F	655

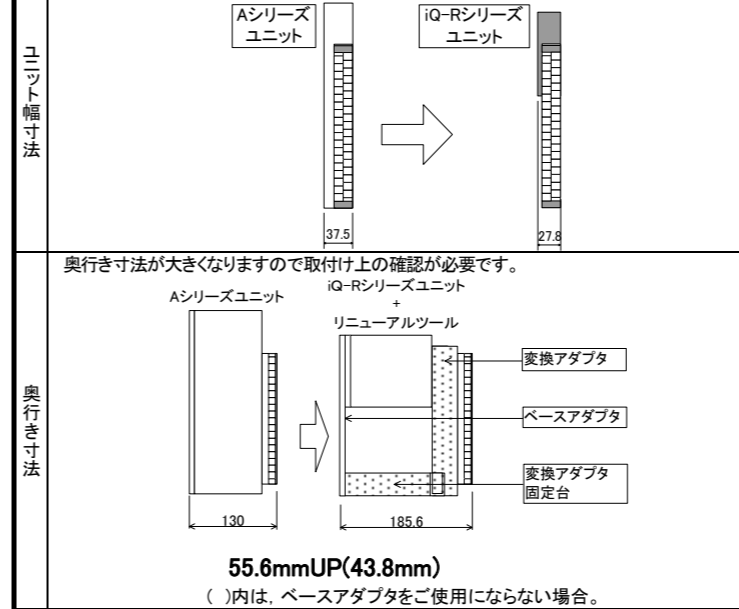
5. 実装と設置

5.1 取扱い上の注意事項

- 通電中は端子に触れないでください。感電の恐れや、誤動作の原因になります。
- 変換アダプタの分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- 変換アダプタの導電部分には直接触らないでください。システムの誤動作、故障の原因になります。
- 変換アダプタ及び変換アダプタ固定台は、取付けネジにて確実に固定し、取付けネジは規定のトルク範囲内で確実に締め付けてください。落下による変換アダプタ及び変換アダプタ固定台の破損の原因になります。
- 変換アダプタは屋内にて使用してください。

5.2 使用上の注意事項

ユニット幅寸法が小さくなり(37.5mm→27.8mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。



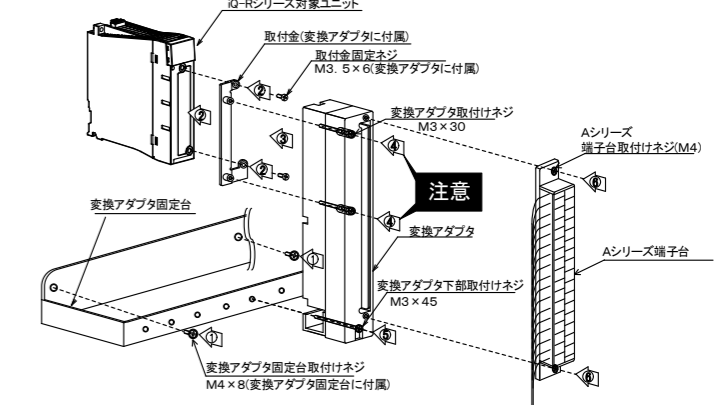
5.3 設置環境

iQ-Rシリーズの「安全にお使いいただくために」を参照してください。

5.4 ユニット電源の配線

変換アダプタへの供給電源はUL61010-2-201 のSELV/PELV, Class 2 に適合したエネルギー制限回路を使用してください。

6. 各部の名称と取付け方法



6.1 取付け方法

- 変換アダプタ固定台をベースアダプタもしくは制御盤に、付属の変換アダプタ固定台取付けネジ(M4×8)で固定してください。(両端2ヶ所と中央1ヶ所)
- 取付金を対象シーケンサユニットに取付金固定ネジ(M3.5×6)で固定してください。(上下2ヶ所)
- 取付金の上に変換アダプタを装着してください。
- 変換アダプタ取付けネジ(M3×30)で変換アダプタを固定してください。(2ヶ所)

注意

ネジを締付ける前に、変換アダプタが対象シーケンサユニットへ確実に装着されていることを確認してください。浮いた状態や傾いた状態でネジを締付けたら、変換アダプタ取付けネジおよび取付金の破損の原因になります。

- 変換アダプタ下部取付けネジ(M3×45)で変換アダプタを固定してください。(1ヶ所)
- 変換アダプタへAシリーズ端子台を端子台取付けネジ(M4)にて固定してください。(上下2ヶ所)

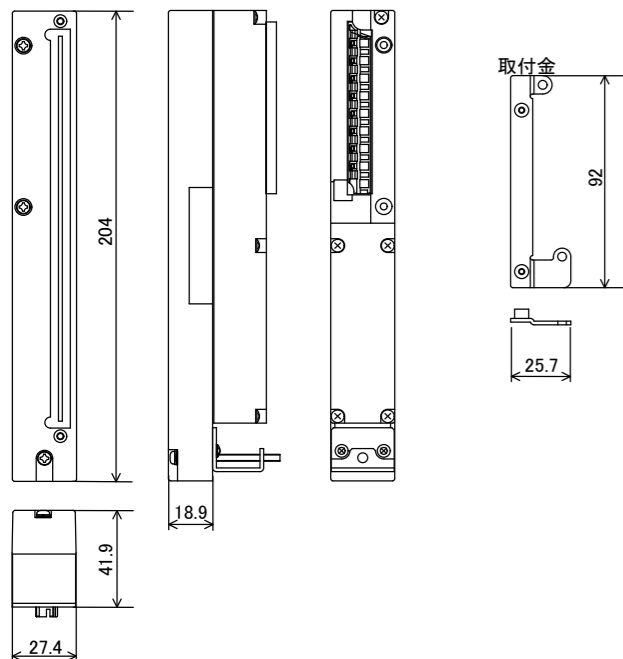
6.2 締付トルク

ユニットの取付けネジは、下記の規定トルクで締め付けるようにしてください。締付トルクが適正でない場合は、落下、短絡、故障、誤動作の原因になります。

ネジの箇所	締付けトルク範囲
変換アダプタ固定台取付けネジ(M4ネジ)	1.39~1.89 N・m
取付金固定ネジ(M3.5ネジ)	0.68~0.92 N・m
変換アダプタ下部取付けネジ(M3ネジ)	0.43~0.57 N・m
変換アダプタ取付けネジ(M3ネジ)	
Aシリーズ端子台取付けネジ(M4ネジ)	1.02~1.38 N・m

7. 外形寸法図

単位: mm

**禁無断転載**

本説明書の一部または全部を弊社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することを堅くお断りします。
©2018 MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED ALL RIGHTS RESERVED

MELSEC は三菱電機株式会社の日本における登録商標です。

製品保証内容

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますようお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、当社はお買い上げいただいた販売店を通してご返却いただき、無償で製品を修理させていただきます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後1年間とさせていただきます。

ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長6ヶ月とし、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。

また修理品の無償保証期間は、修理前の保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

生産中止後の有償修理期間

(1)当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。
生産中止に関しましては、販売店経由にて連絡いたします。
(2)生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責任に帰することができない事由から生じた損害、当社の製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無に関わらず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、お断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。


三菱電機エンジニアリング株式会社

営業統括部	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5 (ヒューリック九段ビル) TEL (03) 3288-1103 FAX (03) 3288-1575
東日本営業支社 (関東甲信越以北担当)	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5 (ヒューリック九段ビル) TEL (03) 3288-1743 FAX (03) 3288-1575
中日本営業支社 (中部・北陸地区担当)	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7 (松岡ビルディング) TEL (052) 565-3435 FAX (052) 541-2558
西日本営業支社 (近畿地区担当)	〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル) TEL (06) 6347-2926 FAX (06) 6347-2983
中四国支店 (中国・四国地区担当)	〒730-0037 広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル) TEL (082) 248-5390 FAX (082) 248-5391
九州支店 (九州地区担当)	〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-14 (紙与邊辺ビル) TEL (092) 721-2202 FAX (092) 721-2109

技術お問い合わせ

名古屋事業所
技術サポートセンター
TEL.0568-36-2068 FAX.0568-36-2045
受付/9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜~金曜 (土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日)

この印刷物は2020年6月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。